

マルチサイトカイン測定

研究検査

2018年4月現在

検査概要

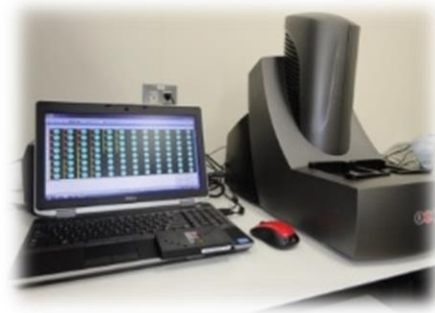
検査法	電気化学発光法（ECL: Electrochemiluminescence法）
検査項目	下表をご覧ください 各Panelに記載のAnalytesの同時測定が可能です
材 料	ヒト血漿、ヒト血清、ヒト尿、ヒト培養細胞上清 その他につきましてはお問い合わせください
必 要 量	50 ～ 100 μ L程度
保存方法	-80℃以下
納 期	検体受領より 1 カ月程度

〈測定項目一覧〉1項目から最大10項目までの同時定量が可能

Panel		Analytes
① Human Cytokines 30-plex	② Human Proinflammatory Panel	IFN- γ , IL-1 β , IL-2, IL-4, IL-6, IL-8, IL-10, IL12p70, IL-13, TNF- α
	③ Human Cytokine panel	GM-CSF, IL-5, IL-1 α , IL-7, IL-12/IL-23p40, IL-15, IL-16, IL-17A, TNF- β , VEGF-A
	④ Human Chemokine panel	Eotaxin, IP-10, MIP-1 β , MDC, Eotaxin-3, TARC, MIP-1 α , MCP-1, MCP-4, IL-8(HA*)
⑤ Human TH17 Panel		IL-17A, IL-21, IL-22, IL-23, IL-27, IL-31, MIP-3 α
⑥ Human Angiogenesis Panel		VEGF-A, VEGF-C, VEGF-D, Flt-1/VEGFR-1, PlGF, FGF(basic), Tie-2
⑦ A β Peptide Panel		A β 38, A β 40, A β 42

測定意義

ウイルス感染時や疾患時の細胞死等で放出されるサイトカインを、疾患マーカーや抗がん剤治療における副作用予測因子としてマルチに測定することで、個々のマーカーの変動を比較することができます。



ECL法について

特色

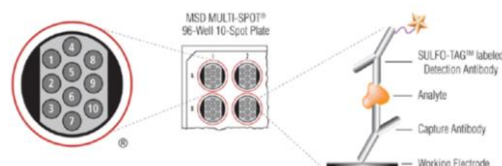
Meso Scale Discovery 社のMULTI-ARRAY™システムを用いたECL法によるバイオマーカー測定を行っております。

特徴①：ELISA法よりも高感度でダイナミックレンジが広い

特徴②：少量のサンプルで測定可能

特徴③：非特異反応が少ない

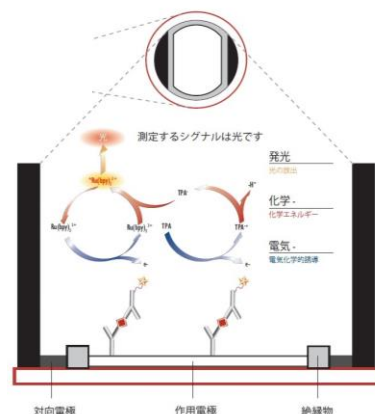
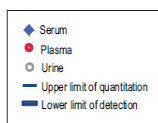
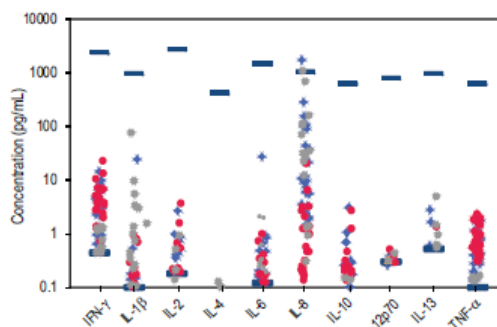
特徴④：1ウェル内に異なる抗体が固相化されたスポットがあり、複数のバイオマーカーを同時に定量可能



原理・特徴

基本的な原理はELISA法と同様で、検出時にECLを用います。

1. プレートに固相化したCapture 抗体と分析試料を反応
2. SULFO-TAG標識抗体（ルテニウム錯体）を添加し2次反応
3. プレート底面に電気を流し、化学発光強度を測定



ヒト血清、血漿、尿をサイトカイン10項目同時定量した場合、健常者レベルの低濃度領域まで定量できます。また、ECL法と同様に多項目同時測定が可能なLuminex法と比較すると、低濃度域でECL法の検出感度が高いことも示されています。

- Biological and Technical Variables Affecting Immunoassay Recovery of Cytokines from Human Serum and Simulated Vaginal Fluid: A Multicenter Study (Raina N. Fichorova. et.al., Anal Chem. , 2008 Jun 15;80(12):4741-51.)
- Multisite Comparison of High-Sensitivity Multiplex Cytokine Assays (Elizabeth Crabb Breen. et.al., Clin Vaccine Immunol. , 2011 Aug;18(8):1229-42.)

お問い合わせ



KPSL
九州プロサーチLLP

〒819-0388
福岡県福岡市西区九大新町4-1
九州プロサーチ有限責任事業組合
<https://kpsl.jp/>